



萩市須佐地域

# 公民館だより

令和7年

# 12月

第629号

須佐地域生涯学習推進  
マスコット「まな坊」

※題字は昭和48年発刊第1号時のもの

**集おう！学ぼう！**  
**手をつなごう！**

発行/須佐公民館 〒759-3411 萩市大字須佐4570-1 TEL08387-6-2310 FAX08387-6-2030  
弥富公民館 〒759-3302 萩市大字弥富下4043 TEL08387-8-2044 FAX08387-8-2212  
特定非営利活動法人 須佐元気なまちづくりネット

## 萩市合併20周年記念

# 約2万個のもちまき大盛況！

須佐地域ふるさとまつり



会場いっぱいのもちまき「それーっ！」

### 《今月の話題》

- ふるさとまつり盛大に開催！・・・・・・・・・・1～3P
- 須佐美術展、作品143点を展示・・・・・・・・・・4、5P
- 龍が通った道まつり（弥富）・・・・・・・・・・6P
- 秋はお出かけ満載！
- ～弥富子ども会、須佐合同学級遠足～・・・・・・・・7P



萩光塩高ときただにひろさんのコラボ

# 特集

## 『みんなまで広げよう交流の輪、つなごう未来へ!』をテーマに…

2025 須佐地域ふるさとまつり



11月3日(月)文化の日、須佐地域最大のイベント「ふるさとまつり」が、須佐総合事務所駐車場で開催され多くの人でにぎわいました。

当日は、朝から秋風が吹いていましたが、お天気も良く、約3500人が会場に集いました。

今年も、須佐中学校の生徒が実行委員会に携わり、当日は、FMやまぐちの山田香織さんと一緒に司会進行を務め、会場を盛り立てていました。また、会場内の各出店の手伝いにも協力していました。

当日は、出展者や市職員が、朝7時半に会場へ集合し、協力してテントを立てたり会場の準備を行い、9時15分、いよいよまつりがスタートしました。

### 【オープニングには表彰式も…】

ステージイベントの前には、「人権啓発作品」と「あいさつ標語」の表彰式もありました。皆さん緊張した趣で賞状を受け取られていました。なお、「あいさつ標語」は先月号

に、また人権啓発作品の表彰者は、今月号の5ページに掲載しています。

### 【須佐の郷土芸能を子ども達が披露】

午前中のステージイベントでは、主に須佐地域の子ども達が頑張りました。最初は、



パチさばきが勇ましい!

須佐保育園児の力強い「げんき太鼓」から、音楽が鳴り始めると、普段のかわいい笑顔から真剣な表情で、しっかり前を向いて太鼓をたたき園児の姿に、観客席から大きな拍手が沸きました。

次は、育英小学校の児童による

「子ども田植えばやし」と「子ども神楽」です。今年も、当日披露するまでに困難がありました。いつもながら夏休みから練習が始まるのですが、今年も、2学期が始まり、9月末頃になってもその兆しがなく、「やり

ます」と言う紙面ばかりが先走っていたので、小学校へどうするのか問い合わせたところ、「やる」という意思が硬かったため、一ヶ月で猛練習することとなりました。地域の皆さんに教えていただく練習量は、週2回ずつ。

学校では、きつとそれ以上の練習も行ったことでしょうか。

まつり当日は、大勢の来場者や保護者の前で、披露できるまでになりました。緊張もしたと思いますが、良く最後までやり切りました。

ステージか



オロチ退治だ、えいっ!



子ども田植えばやし

ら降りた後は、ホッとしたことでしょう。この須佐地域の伝統文化は、ずっと受け継いでほしいですね。

午前中最後のイベントは、須佐中学校生徒の「よさこい」

踊りです。観客目線より迫力を見せるため、毎回ステージの下で踊っています。少し風が強くなってきましたが、それでも踊りが格好良く見える、最大のポイントともなりました。



観客の目の前でパフォーマンス

【のど自慢大会では、1番目から大盛り上がり!初参加も…】

昼食の時間帯ともなる午後最初のイベントは、応募者11組による「のど自慢大会」です。皆さん自慢のどを披露され、大満足の様子でした。

中でも、1番目から盛り上げていただいたのは、富田京子さん(5区)。富田さんは、萩市保健推進協議会須佐支部とし



着ぐるみを着て観客を引き寄せる



本物？ 中村誠一さん

て活動しており、同じメンバーとともに色鮮やかな着ぐるみを着てステージに登場し、周りで盛り上げていた大きな歌を歌っていました。

また、9番目に登場の中村誠一さん（2区）は衣装も素敵でしたが、新浜レオンさんになり切って歌うところは慣れたもの。観客席からもうちわで応援する姿も見られました。初参加者も数名おられました。堂々とした歌声を聞かせてくれました。【いよいよきただにさんの登場！観客は絶頂に！】



きただにひろしさんも地元のまつりに参戦！

### 萩光塩高校学院のダンス、ハフォー

マンスの後は、お待ちかね、アニソン歌手のきただにひろしさんがステージに登場！会場は一気に歓声が沸きました。きただにさんは、



きただにさんのパワーは来場者にも伝わり一体感へ！

須佐の出身。我が故郷のまつりを盛り上げようと、ワンピースの「ウィーアー！」はもろろんのこと、持ち歌を会場いっぱい響かせました。ふるさとまつりでのきただにさんの登場は初めて！観客だけでなく、まつりスタッフやテント内の出店者も、きただにさんのステージに目を向けていました。

【終盤はお楽しみ抽選会ともちまき大会で、最高潮に！】

きただにさんのステージで盛り上がった後は、お楽しみの抽選会が催されました。自転車やテレビ、お米など数々の景品が用意され、抽選で当たった方は大喜びでした。

そして、おまつり最後の「もちま

### き大会」（表紙写真）。今年は、15

集落と1団体、まつりの実行委員会が順番に餅をまいていきました。

まく方は、ステージ上にそれぞれ準備した餅を抱えて上がり、合図に併せて一斉に「それっ！」とまいて行きました。拾う方は、不公平さがないように、前後を途中入れ替えながら餅拾いを楽しみました。

集落によっては、小餅のほか、大きな餅を用意したりお菓子を一緒にまく集落などもあり、子どもから大人まで、楽しんでいました。時には、「こっち、こっち！」と手を挙げて合図する人もおり、餅拾いの熱意が伝わってきました。



須佐の特産品を求めて販売を見てまわる来場者

### 【出店販売は、人との交流と達成感！】

朝早くから会場設営に追われたのは、15団体の出店者。ステージと観客席を大きく囲み、会場いっぱいにてんと分けて、販売に力を注ぎました。

販売で楽しいのは、商品を求めてこられた人とのふれあいです。知らない方に声をかけるのは勇気のいることではありますが、話してみると、相手もいろいろな話をして商品も購入していただいたり、人と交流することで何かしら元気が湧いてきて、出店者の皆さん全員が笑顔になっていました。また、販売による達成感を感じることにも次への意欲にもつながっています。



須佐中学生も販売に協力

準備や片付は大変だったけれども、

今年も多くの人を訪れ、会場内が和気あいあいと賑やかに過ごされたことは、大変良かったと思います。次のまつりは再来年。ど

んなまつりになるか今から楽しみです。



# 秋の芸術作品に...

## 約180人が来場!

### 第41回須佐美術展開催!



11月1日(土)から5日(水)までの5日間、毎年恒例の須佐美術展・萩市巡回美術展が、須佐公民館で開催されました。3日(月・祝)には、須佐総合事務所の駐車場であふるとまつりも同時開催され、多くの方が作品を見に訪れました。

今年も、須佐地域から10点、萩市美術展から11点、それから須佐地域内の保育園、小・中学校の子ども達が描いた「ふるさと愛護スケッチ展」が91点、「読書感想画」7点、「歯のポスター」9点、「デザイン画」12点を含む)、人権啓発作品24点と併せて145点もの作品が展示され、鑑賞に訪れた方の目を楽しませていました。

平成25年7月の豪雨水害とコロナウイルス感染症などの影響もあり、須佐地域からの出品数は、年々減少傾向にあります。そんな中でも、初めて萩市美術展とともに須佐美術展にも、書を出品された山根浩美さん(浦西)。また、須佐美術展実行委員会の委員長でもある伊藤正久さん(中畑)は、毎年大きいサイズの陶芸作品を出されており、今年の萩

市美術展では、久しぶりに「奨励賞」を受賞されました。実行委員会の会



伊藤正久さんの「無題」

員でもある田村倫子さんは、「もったいない」の精神で、家にあるものを作品の材料として、独自の発想



田村倫子さんの「何、なに、ナニ」

で毎回楽しい作品を出してくれています。今年は、かごなどを作った残ったクラフト紐を使った作品、「何、なに、ナニ」という題の作品が展示され、見る人の目によって何かを発想してもらおうような、楽しい作品になっていました。田村さんをよく知っている人からは、「いつもようやうてじゃねえ」「どこからこんな発想

が生まれてくるんだろう」と絶賛されておられました。

今年も、須佐地域から絵画の作品はありましたが、そんな中でも萩市美術展の巡回作品は、とても欠かせない存在ともなっています。

この作品のおかげで展示会場も賑わい、また受賞された作品がほとんどなので、見て勉強にもなります。その中で、書の「仏説阿弥陀経」は、作品の中に小さい文字でお経がかかれており、「良くこれ書けたなあ」と来場者が見入っていました。



入選の「仏説阿弥陀経」(萩市美術展の作品)



教育長賞 「旅情」(萩市美術展の作品)

「ふるさと愛護スケッチ展」では、子ども達のそれぞれ個性あふれる作品が展示され、須佐地域の方やふるさとまつりに来られたお客さん等多くの方が笑顔で鑑賞されていました。特に中学校2年生のふるさとの絵は良く描かれており、「まあ、これ見て、すごい上手に描けたね!」「色遣いや筆の使い方がすごいね!」など、とても褒めておられました。



子ども達のふるさとの絵をじっと鑑賞する参加者

今年も地域の皆さんのおかげで、無事に須佐美術展を終えることができました。来年度は、新しい作品や人も発掘しながら続けていけたらと思いますので、皆さんのご協力をお願いいたします。

ひるがし愛護スケッチ展  
審査結果

10月30日(木)に、須佐美術実行委員で審査を行ったところ、左記の結果となりましたのでお知らせします。なお、須佐中学生の作品は、「ふるさと愛護スケッチ展」を基本とし、他の「読書感想画」「歯のポスター」「デザイン画」は、銀賞を最高賞として、それぞれ部門別に表彰することとしました。

《保育園の部》

- 金賞 須佐保年長 豊田一稀
- 銀賞 須佐保年中 原田羽唯
- 銅賞 須佐保年少 藤田桜叶

《小学校の部》

- 《低学年の部》
- 金賞 育英小1年 岩本 樹
- 銀賞 育英小2年 野村絆成
- 銅賞 育英小2年 原田真羽
- 《中学年の部》
- 金賞 育英小4年 角谷あかり
- 銀賞 育英小4年 野村岬希
- 銅賞 育英小4年 石戸結葵

《高学年の部》

- 金賞 育英小6年 石戸結菜
- 銀賞 育英小5年 工藤 雫
- 銅賞 育英小6年 角谷 真

- 《中学生の部》
- 金賞 須佐中2年 福島葉乃
- 銀賞 須佐中2年 工藤 紬
- 銅賞 須佐中2年 大谷梓紗

《作品介绍》



須佐中2年 福島葉乃



育英小6年 石戸結菜



須佐保年長 豊田一稀

人権教育啓発作品展  
審査結果

一方、10月23日(木)には、人権教育啓発作品選考で、応募された作品の中から、次の皆さんが優秀作品に選ばれました。

【標語・短歌の部】

- 『いやなことはひとにいわない ぼくもしない』  
育英小1年 佐々木瑠伊
- 『たすけあい みんな仲よく 明るいえ顔』  
育英小4年 野村岬希
- 『ありがとう 笑顔あふれるこの言葉』  
須佐中2年 大野来未

【ポスターの部】



育英小5年 篠原千帆



須佐中3年 井関弥采

【習字の部】



育英小4年 豊田莉希



育英小6年 篠原天真



入江 緒方恵美子

## スポーツの秋

### グラウンドゴルフを満喫!

#### 弥富地区体育大会

去る10月26日(日)、弥富グラウンドにおいて、令和7年度弥富地区体育大会が開催されました。

今年度は、9地区から14チーム、およそ100名の皆さんの参加があり、グラウンドゴルフを行いました。前日からの天候が悪く、開催が危ぶまれましたが、当日は朝から晴れ、絶好のグラウンドゴルフ日和となりました。

競技は、14チーム参加なので、1ゲーム目を7チーム、2ゲーム目を7チームに分け、1チーム4名で2回ラウンドし、その合計点数で勝敗を競いました。



ゴールポストを目指し集中する参加者

グラウンドの状況が芳しくなかったせいもあり、みなさんショットが決まらず苦戦をしておられました。例年、ホールインワンがもう少し出るので、この度は4名にとどまりました。このような厳しい状況の中、上位チームは、上手にスコアをまとめて、高得点をたたき出し、レベルの高い戦いとなりました。

参加された地区の皆さんも、秋の一日をグラウンドゴルフで楽しまれ交流も深まったようです。

なお、大会の結果につきましては次のとおりです。



表彰式の様子

#### 【大会結果】

〓総合〓

優勝 12区 200点

準優勝 10区 205点

3位 2区 211点

〓個人〓

1位 松原弘美(9区) 42点

2位 大野喜弘(10区) 45点

3位 中村誠一(2区) 46点

(※) その他、各賞あり

### 秋晴れの中、龍が通った道まつり開催

〓足摺山山頂から龍が通った道を見下ろす絶景を楽しむ〓

11月16日(日)、快晴のもと「龍が通った道まつり」が豊ヶ淵交流事業実行委員会主催により開催されました。今年度は、3000万年前の火山群の一部で標高326m、「足摺山(あしずりさん)」の登山をメインに、火山活動で生じた地形等を学んでいただきました。

参加者は、市内外から15名の方に参加いただき、小学生のお子さまも元気に参加してくれました。

当日は、猿屋の瀧を見学後、約1時間かけて、足摺山に登りました。登山には、足摺山保存会の方に同行いただきました。

登山道には、案内看板や木にピンクのリボンが設置してあり、道に迷うことなく行けましたが、道は険しく、ロープにつかまって登るなど、急な勾配のところもありました。



「おおひとのあしあと」の場所で記念撮影

下山途中には、言い伝えのある「おおひとのあしあと」と呼ばれる70cmの足跡がある岩場で記念写真を撮りました。

下山後は「龍鱗郷」や「上の原台地」を見学し、龍の里やどみにて昼食休憩。弥富の特産品である十割手打そばを、参加者の皆さんにご賞味いただきました。

最後に弥富龍神太鼓の迫力ある演奏が披露され、「龍からの贈り物」として、地元の手作りのこんにやくや柚子マーマレード・そばなどをお土産として参加者にお渡しすると、大変喜んでおられました。

今後も地域の自然と歴史を大切にしたいイベントを開催してまいります。

は石仏が並び、下を見下ろすと絶景が広がって参加者一同、雄大な景色を喜んでおられました。

また、実行委員会の宮内会長より、遠くに見える約40万年前に噴火したイラオ山から溶岩が流れ出し、この地形が形成されたことの説明もあり、自然の歴史に触れる貴重な機会となりました。

# 秋のお出かけツアー

## 海洋館アクアスへGo!

弥富地区子ども会

10月18日(土) 弥富地区子ども会のお出かけツアーで、島根県浜田市のしまね海洋館アクアスに行きました。弥富地区の小中学生とその保護者が参加し、親子での楽しい一日となりました。

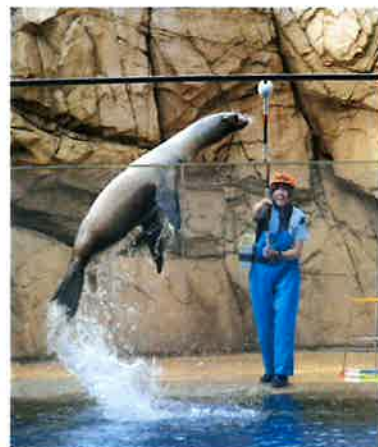
アクアスに到着すると、ちょうどシロイルカパフォーマンスが始まる時間でした。アクアス生まれの2匹のシロイルカ、「シーリヤ」と「ミリーヤ」



シロイルカのショー

による素敵なパフォーマンスで、噴気孔(頭の上にある鼻)や口から上手に息を吐き出す綺麗な「バブルリング」を見ることができ、とても幸せな気分になりました。

その後、アシカとアザラシのパフォーマンスも見学しました。アシカとアザラシの区別の仕方は、前足で泳ぐのがアシカ、尾びれで泳ぐのがアザラシとのことでした。特にアシカの



アシカのジャンプ!

前足は力があり、逆立ちなどのパフォーマンスも見せてくれました。そのほかに、ボール乗せ、輪投げ、ターゲットジャンプなどアシカの素晴らしい能力を生かした技が披露されました。一方、アザラシはプールをひたすら気ままに泳いでいるだけという、似たような容姿でありながら、全然違う生態がとてもおもしろく思えました。

また、サメなどが泳いでいる海底トンネルでは、たくさん海の生き物たちを見学することができました。

午後は、屋外遊具で遊んだり、昼ヶ浦見学の予定を

していましたが、雨となつて中止となり残念な内容となりましたが、親子で楽しく水族館を満喫することのできた一日でした。



海洋館で記念撮影!

# 秋芳洞・道の駅を散策!

さつき学級・あおば勉強室 秋の合同遠足

11月13日(木)、須佐さつき学級とあおば勉強室合同企画として遠足に出かけました。テーマは「外に出て秋を感じよう!」と言うことで、美祢市の秋芳洞へ、参加者は16名で行きました。

朝9時に須佐公民館を出発し、10時20分頃、秋芳洞の駐車場へ着きました。秋芳洞は、地下100m、日本屈指の鍾乳洞(しよういどう)です。入口から中に入ると薄暗く、ひんやりとした空気が漂っています。



秋芳洞の前にちょっと「秋吉台」に寄り道

その日の気温は、20℃以上で外は少し暑いくらいでしたので、洞内は涼しく感じられました。

今回見学したのは、約1kmのコースで、最後はエレベーターで駐車場まで上がるようになっていました。暗い中ではありましたが、足元の舗装や階段が良かったので、高齢の



これが「黄金柱」

参加者も歩きまわることができました。中には、カメラでスポット写真を撮られる方もいました。エレベーター出口より急な坂を少し上っていくと、最大のスポット「黄金柱」が立っており、「わあ、すごいねえ、何年までこままでになったんかねえ」と参加者はみな驚いていました。

秋芳洞を出た後は、下関市豊田町の道の駅「螢街道西ノ市」へ行きました。ここでは各自自由行動で、昼食・買い物をしました。昼食は、なぜか全員が同じレストラン食べ、食べ終わってもしばらくは話に夢中になっていると、買い物時間が少なくなり、急いでショップへ行っておいしい物を楽しんでおられました。

「何十年ぶりに秋芳洞へ来た」「実際にみると秋芳洞の中は広いね」などの声を聞き、非常に楽しい遠足となりました。



「百枚皿」

楽しく染め物体験！



須佐あおば勉強室

10月28日（火）、今年も玉ねぎの皮を使った染め物を行いました。

学級での染め物は、数年前にも行ったのですが年数が経ち、昨年も手探り状態の中での体験でしたが好評だったので、今回は3回目ということで、少し布のしぼり方を工夫してみようと思いました。

準備した材料は、主役の玉ねぎの皮、ダブルガーゼ布、ビー玉、焼きミョウバンです。玉ねぎの皮は、洗濯用の網に入れ、鍋でお湯が沸騰してから約30分煮ます。その間に、ビー玉と輪ゴムを使って、布にしぼりを入れていきます。このしぼりの仕方、いろいろな模様になります。

参加者は、いろいろ工



しぼりに悪戦苦闘の参加者！

夫しながらしぼりを入れていくのですが、ビー玉だけを頼りにしているもので、「布を畳んだり、輪ゴムだけでも考えて使えば、違った模様ができると思いますよ」と実際にやってみせたりすると、考えて作業をしていました。

それを煮だした液に約30分くらいつけて置き、その後、輪ゴムなどを外した布を水洗いし、色止めをする焼ミョウバンを溶かした水の中に約20分くらいつけて、最後にしっかりと水洗いすれば、玉ねぎ染めの出来上がりです。「良く模様が出てくるねえ」「もうちよつとたくさんしぼりを入れればよかったあ」「ナスの皮でもできるんよね」など、思うような染め上がりになったかは分かりませんが、一人ひとり違った模様の染め物ことができました。



出来上がり！色がよく染まっています

数日後、早速「ナスの皮で染めてみたら、きれいに染められた」という参加者もおられました。

秋の味覚を楽しもう！

弥富料理教室

11月12日（水）、弥富交流促進センターで料理教室を行いました。

講師はおなじみ、「阿武産直 千代丸食堂」の児玉勝美様（弥富12区出身）をお迎えして、今回は、「豚角煮」「パイスープ」「シイラとキノコの混ぜご飯」「さつまいものサラダ」「簡単焼きりんご」の5品の料理を教えていただきました。

今回も、須佐中学校1年生の生徒さんと一緒に調理実習を楽しみました。はじめに「もう1度おさらいしたい料理のコツ」を簡単にお話していただきました。

●料理本やネットでのレシピは参考程度に。使う調味料、材料は地域や採れた時期によって味が違う。  
●うすくち醤油、こいくち醤油は性質が違い、うすくち醤油の塩分はかなり高い。

【うすくち醤油】：お吸い物等で色を付けたくない場合。醤油の優しい香りを付けた場合。  
【こいくち醤油】：煮物等でしっかりと味を付けた場合。醤油の強い香りを付けた場合。

調理実習では、レシピを見ながら、生徒さんとそれぞれ役割を決めて、



生徒と一緒に楽しんで料理する参加者



旬の食材がそろった料理

和やかな雰囲気の中、5品の料理を作っていました。手際よく、料理も美味しくできあがり、一緒に作った生徒さんと話をしながら楽しく会食されました。地域の方から「美味しかったね」「楽しかったよ」との声が聞かれ、とても満足された様子でした。生徒さんも「とても楽しかったです。100点！」「地域の人たちと楽しく、美味しい料理を作ることができて良かったです」など、とても楽しく調理実習ができたようです。

子育て支援日記

テーマ／おじいちゃん、おばあちゃんの知恵袋

「祖父の思い出」

須佐中学校

教頭 佐藤雄吾



「おじいちゃん、おばあちゃんの知恵袋」といっても、幼少の頃におじいちゃん、おばあちゃんに会う機会が少なく、多くを語れません。

私の両親は、ともに山形県出身で祖父も山形にいました。記憶にあるのは父方の祖父だけで、祖母や母方は私が物心つく頃には亡くなっていました。

この父方の祖父が「ザ・明治生まれ」の人で、「不屈の精神」「臥薪嘗胆」「辛抱強く真面目」「上下関係に厳格」「もったいない精神」：このような人でした。私は神奈川県に住んでいたため、祖父に会う機会が滅多になく、二〜三年に一度の割合で両親が山形に帰省する時に会う程度でした。



小学校に入学した年に帰省したとき、珍しく祖父から「誕生日プレゼントに何が欲しいか」と問われました。

た。それまで厳しい面しか見たことがなかった私はおどおどしてしまいました。本当は欲しいプラモデルがあつたのですが、そんなおもちゃを欲しいと言おうとまた怒鳴られそうだし、

悩んだあげく「僕はもう小学生になったのだから、おもちゃではなく、ノートや消しゴムが欲しいのです」と言いました。小学一年生がそんなことを言うものだから、その場にいた親戚一同が大笑いでした。祖父も笑っていました。その後、祖父に買ってもらったのは結局プラモデルではなく、「世界の偉人」という本でした。

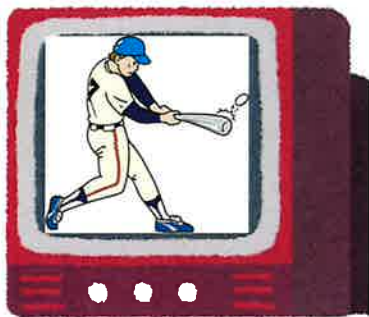


また、祖父は古い言い伝えや風習を大事にする人でした。「夜に爪を切ったら親の死に目に会えない」ということばがあります。祖父の家で夕方に爪を切っていたら後ろから叩

かれ「親不孝者！」と言われました。何やら分からなかったのだから辞書で調べてみると、「夜に爪を切る」とは「世詰め」からきていることばで、世詰めは「命を詰める」つまり「短命」になつて親より先に亡くなつてしまうから親の死に目に会えないのだと分かりました（諸説あります）。それならそうと説明してくれたらいいのにと、子ども心に思いましたが、それ以来ずっと爪は朝のうちに切ることにしています。

家の中の祖父はテレビでスポーツ中継をよくみていました。相撲やゴルフもみていましたが、一番熱くなつていたのは野球です。当時はBS放送もない時代ですから祖父は東京の黒とオレンジのチーム（読売ジャイアンツ）を応援してました（他のチームは放送されなかったの）。

私は当時誰も注目していませんが、私色のチーム（南海ホークス）がものすごく弱くて負けてばかりでかわいそうだったので応援していました。そのチームは私の生前は強い時期があつたらしく、祖父から延々とジャイアンツとホークスの試合の



話を聞かされたものです。

そんな祖父は私が高校一年の秋に亡くなりました。急いで親と一緒に山形に向かいましたが最期は見届けられませんでした。駅で列車を待っているとホームの売店にある新聞が目が留まりました。そこには私の応援する南海ホークスの身売り（親会社が変わること）が報道されていたのを覚えています。祖父と野球の話をした思い出もあり、しみじみとしてしまいました。今でも祖父の亡くなった日に福岡に来たSBホークスを私は応援しています。

社会人になつて山口県に来てからは、山形の祖父のお墓参りもなかなか行くことができていませんが、私の人生のいろいろなところに、気づけば影響をもたらしっているようです。

ちなみに、私の両親は山形県を出て神奈川県で暮らしていました。私は神奈川県を出て山口県で暮らしています。今年から息子が就職したのですが、山口県を出て静岡県で働いています。親元を遠く離れて生活するDNAは受け継がれているようです。



# 地域の原動力 公民館 奮闘記 53



旧 須佐町中央公民館

## いざ歴史民俗資料館・・・？

資料館入口の約1m、裏の益田館は天井付近までが浸水。7月30日時点の様子では、資料館の展示ケースは横転し、益田館の民俗資料は一部流失・浸水の被害。どのように元の状態に返していくのが良いか専門的な立場で指導を受け、資料の修復を行うこととなりました。



ひっくりかえった展示ケース

まずは、現資料(史料)の復旧活動となり、倒れた展示ケースからの資料の取り出し、濡れた資料については、乾かし作業、幸い資料館の展示について、破損はありませんでした。そして、一番大変なのは益田館に展示していた民俗資料でした。大半が水に浸かり、一部は濁流にのみ込まれ屋外に流失しました。

また、益田館は萩市の文化財に指定されていることで、その館については、館自体の復旧が求められ、畳や壁・戸などが忠実に再現されるために、一枚一枚の板も丁寧に剝がされました。

残念なことに、戸板に描かれた絵画(雲谷系)は、少し色が薄れました。本館の復旧は、8月6日から始まり、萩市は勿論のこと、県内の市町村から多くのボランティアの皆さんの協力を得て作業が開始されました。本館からは、木製の展示ケースや椅子などが持ち出され廃棄さ

れました。

また、8月7日からは、益田館の復旧作業が開始され、猛暑の中汗だくで泥のかき出しが行われました。



土砂を掻き出すボランティアの皆さん

真夏の作業のため、どこも温室状態、泥の異臭の中汗だくになりながらボランティア活動が進められ、終わらない作業にボランティアの皆さんの体力も限界の様子でした。

また、資料館周辺では、未だ安否の分からない方の捜索も続き、物々しい状況が続いていました。

## 資料の片付けの中貴重資料

盆前になると民俗資料館本館と別館である益田館の作業も一旦終り、本館の片付いた空間を活用し、

災害を免れた(一部浸かった物も)益田館などの民俗資料の一次避難が行われ、多くの資料が本館のブルーシート内に集められました。

この時、偶然萩博物館の学芸員から、「これは・・・」と言われたのは、以前民俗資料館に古い床畳が持ち込まれたもので、今回の水害の約200年前の文政4年(1821)の須佐の豪雨水害の記録を記した床畳の裏書でした。

この資料は、本町上岩本茂正さんの旧家屋を解体中に発見されたもので、文政4年の豪雨災害の記録を、床畳の裏書として記したものです。(※今回の豪雨では床下浸水)

内容は、「文政4年(1821)7月20日夜明け前、床の上5寸(15.2cm)大水で浸水した。200年前からこれ程の大水に浸かったことはないと評判になった。」と記載。



偶然発見された床畳の裏書き

つづく



# 地域トピックス

## イモ掘りに大奮闘!

育英小学校



11月20日(木)、育英小学校の3、4年生14名が、グラウンド横の元気農園でサツマイモ掘りを行いました。児童たちは、須佐公民館長から話を聞いた後、早速手で土を掘っていきました。すると、すぐに「あったー」と元気な声が聞こえた場所へ行ってみると、大きなサツマイモが見えていました。

サツマイモを、途中で折らないように少しずつ慎重に掘る児童、それとは逆に、一心不乱にどんどん掘っていく児童と、掘り方もそれぞれ。中には、隣同士で一緒に掘っていく児童もいました。

今年は暑さのせいで、少し細身で



「こ～んな大きなイモが採れたよ～！」

したが、それでも場所によっては大きなイモが掘れ、「大きいの採れたよー」と掘れたイモを抱えて見せてくれました。

掘ったイモは、学校へ持ち帰り、均等に分けてお家に持って帰るそうです。一生懸命掘った後は、あらかじめ須佐公民館で掘ったイモを蒸かしイモを、児童や先生方に食べていただきました。給食の後の授業でしたが、児童たちは「おいしい!」と言いながら、何回もお代わりして食べていました。

持ち帰ったサツマイモは、どんな料理になるのか楽しみですね。

## 表彰席



平成12年  
徳山市美術展大賞受賞の時

河村ゆみ子さん(まつかた)が長年、須佐美術同好会に所属し、自らの作品を手掛けて多くの功績を残されたことで、この度「萩市文化奨励賞功労賞」を受賞されました。おめでとうございます。

おめでとうございます。



あつ篤ちゃん

## まちの駐在さん



「オンラインカジノ」って、やったら捕まるんですか?教えてください。

「お答えします」

弥富駐在所:袈裟丸篤史

「オンラインカジノ」は、海外の事業者が合法的に運営しているものであれば、日本国内で、個人的にこれを利用して犯罪にならないと考えていませんか?

海外で合法的に運営されている「オンラインカジノ」でも、日本国内から接続して、『**賭博(とばく)を行うことは犯罪**』です。

「有料版」はもちろん、「無料版」や「無料ボーナス(ポイント)」があっても、オンラインカジノの利用は、絶対にやめましょう。

バカラ、スロット、スポーツベッティング等、その名称や内容にかかわらず、『**オンライン上で行われる賭博は犯罪**』です。

**賭博罪**: 賭博をした者は、50万円以下の罰金又は科料  
**常習賭博罪**: 常習として賭博をした者は、3年以下の拘禁刑



# 生涯学習作品コーナー

## 須佐美術展作品紹介



須佐保育園 年中 原田羽唯



育英小学校 2年 野村絆成

## 【俳句】

物価高熊暴走に耐えた秋

(山根丁東) ゆめはるか

## 【短歌】

米寿にて一人暮らしを自慢げに



このコーナーでは、切手デザインの大家である大塚均(山根丁東出身)さんがデザインされた約120点の作品を随時紹介しています。

着るシャツ釦ぼたんあれかけちがい

(青葉台) 田村雅利

久しぶり白髪揃った四姉妹

笑顔と話題に時を忘れて

(山根丁東) ゆめはるか



大塚 均 (1911-1998)

お年玉年賀切手郷土款ぐ玩具「龍神招福」

龍神招福は、土地の竜神伝説にちなみ、タツノオトシゴをモチーフにした甲府市産の木製民芸品。

甲府盆地誕生ゆかりの地の伝説によれば、盆地がまだ湖底だった頃、そこには竜王が棲んでいた。神々が竜王に「貧しい人々のために湖を干拓して耕地を拓いてやりたい」と相談を持ちかけたところ、竜王は「諸人の幸福を招くことならば」と快く湖を明け渡して天に昇ったという。昭和39年お年玉年賀切手5円が発行された。大塚均52歳の作品です。



## 須佐の偉人伝 大塚均

105

切手カバー図案も合わせてお楽しみ下さい。

2025

# 12月 地域カレンダー

● = 須佐公民館    ● = 弥富公民館    ● = 生き生き教室  
● = 学校・保育園行事    ● = スポーツ関係    保セ = 保健センター  
● = 子ども対象行事    弥G = 弥富グラウンド

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
	1 麻雀クラブ 13:00 ピンポンクラブ 13:30	2	3 つどい会 10:00	4 	5	6 <span style="color:green">●</span> 須佐保生活発表会 ■ 須佐駅前イルミネーション
7	8 <span style="color:red">●</span> スマホ相談所 9:00 <span style="color:green">●</span> エコクラブ 9:30 <span style="color:green">●</span> ピンポンクラブ 13:30	9 <span style="color:red">●</span> パッチサークル 9:30 ■ 年末年始の交通安全 県民運動(～1/3)	10 <span style="color:green">●</span> 歩こう会 8:45 <span style="color:red">●</span> 色えんぴつ画 13:30	11 <span style="color:red">●</span> 習字教室 10:00	12 <span style="color:blue">●</span> 物作り教室 9:30 <span style="color:green">●</span> 手芸クラブ 9:30 <span style="color:green">●</span> 囲碁・将棋 13:30	13 <span style="color:red">●</span> 韓国カフェ 13:30
14	15 <span style="color:green">●</span> ピンポンクラブ 13:30 <span style="color:green">●</span> 麻雀クラブ 13:00	16	17 <span style="color:green">●</span> 音楽療法 13:30	18 <span style="color:green">●</span> 生き活体操 8:45 <span style="color:red">●</span> あおば勉強室 13:00	19 <span style="color:green">●</span> 須佐保育園 風の子大会	20 <span style="color:blue">●</span> しめ飾りづくり
21 <span style="color:green">●</span> 須佐みこと マラソン大会 9:30開会 10:00スタート 家庭の日	22 <span style="color:red">●</span> スマホ相談所 <span style="color:green">●</span> エコクラブ 9:30 <span style="color:green">●</span> 麻雀クラブ 13:00 <span style="color:green">●</span> ピンポンクラブ 13:30	23 	24 <span style="color:green">●</span> 小・中学校終業式 <span style="color:blue">●</span> Gゴルフを楽しむ会 9:30 ※クリスマス	25 <span style="color:red">●</span> のびのび教室 「しめ飾りづくり」 9:00	26 ★公務納め	27 
28 ■ 須佐特産暮の市 (須佐駅前)	29 	30	31 ■ 大みそか	※年始公務はじめ R8 1/5 (月) からです		

## みことマラソン大会

○日時 12/21(日)

詳細については、  
回覧チラシをご覧ください。多くの  
参加者をお待ちしております。



○申込み 12月18日(木)まで  
に須佐公民館 ☎ 2310へ

○持参物 300円(材料代)  
はさみ・持ち帰り袋

午前9時～12時

○とき 12月25日(木)

● 須佐のびのび教室  
「お正月のしめ飾りづくり」



○申込み 12月5日(金)までに  
弥富公民館 ☎ 2044へ

○持参物 参加費 500円  
エプロン・三角巾・  
マスク・お米1合

○講師 弥富9区 齊藤洋子

○ところ 弥富交流促進センター

○とき 12月12日(金)  
午前9時30分から

○と き 一緒に食べましょう!

● 物作り教室  
「手作りこんにやくを作って」

● 物作り教室  
「手作りこんにやくを作って」

## 伝言板



毎月第3日曜日は「家庭の日」  
今月は「21日」です  
★家族みんなで過ごしましょう!

### 須佐地域の人口 (R7.10月末現在)

	世帯数	人口	前月比
須佐	917戸	1,606人	( 2人)
弥富	207戸	385人	( 2人)
合計	1,124戸	1,991人	( 4人)

昨年比 世帯数△26人 人数△77人

### 編集後記

皆さん、令和7年はどんな年  
だったでしょうか？ひとときわニ  
ユースで話題になったのは、「  
熊」でしたね。須佐地域でも  
何度か呼びかけがありました。  
そして、長〜い夏！特に作物な  
どを栽培されておられる方は、  
大変だったと思います。  
さて令和8年は、どんな年  
なるでしょうか？  
須佐公民館では、地域も皆さ  
んに助けられながら、いろんな  
活動・行事を進めています。令  
和8年度も引き続き、ご協力を  
よろしくお願いいたします。

須佐・弥富公民館一同